

1. 町道の維持及び整備の見解は

道路は町内の経済活動や町民の生活を支えるインフラ施設として重要な役割を担っている。その中で、道路舗装は、平常時における安心・安全な道路交通を支えるとともに、緊急時における安全な搬送を実現するなど、重要かつ多様な役割を有しており、道路舗装のサービス水準を維持することが道路管理者の責務である。

本町では、老朽化が進んだ道路舗装の補修を計画的に実施するため、平成 25 年に路面性状調査を行い、その結果に基づき平成 26 年度から平成 30 年度までの 5 年間の計画で道路舗装維持修繕を実施した。しかし、結果として、計画されていた全ての工事は終了しておらず計画どおり進まなかったのが現状である。

この結果を踏まえて、今後どのように維持修繕事業へ取り組んでいくのか。また、その他、道路舗装以外にも整備や新設改良が必要な道路があると考え、町の見解を問う。

- ① 5 年間の町道舗装維持整備計画の検証と今後の計画は。
- ② 道路新設改良事業の進捗状況と今後の計画は。
- ③ 延沢横断歩道橋の調査結果と町の対応策は。